

都市再生整備計画 事後評価シート  
大洗駅周辺地区

令和4年3月

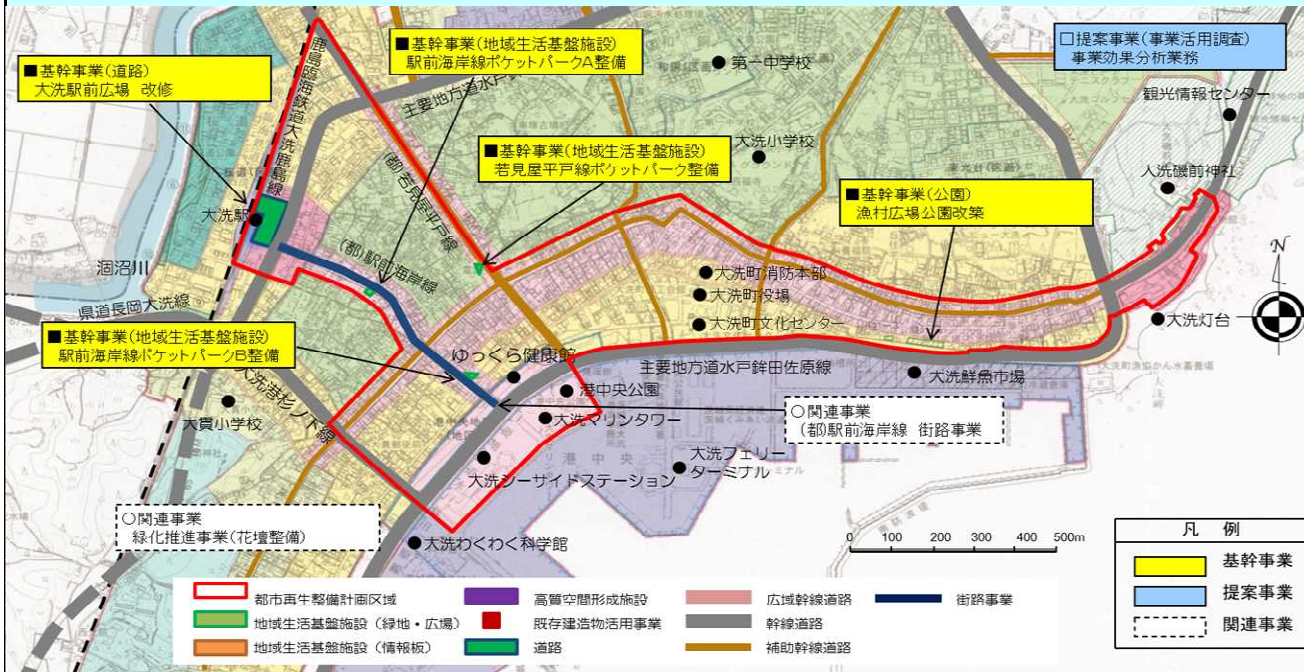
茨城県大洗町

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	大洗町		地区名	大洗駅周辺地区			面積	82.0ha				
交付期間	平成28年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和3年度		交付対象事業費	575	国費率	0.4						
1) 事業の実施状況	事業名														
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(大洗駅前広場)、地域生活基盤施設((都)駅前海岸線ポケットパークA、B)												
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析業務)												
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設((仮称)大洗まちなか散策案内板)、高質空間形成施設((都)駅前海岸線歩道連続照明、宮下地区歩道連続照明、(都)駅前海岸線ポケットパークBモニュメント)、既存建造物活用事業(筑波銀行活用事例)				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	なし				-			-					
	新たに追加した事業	基幹事業	公園(漁村広場公園)、地域生活基盤施設((都)若見屋平戸線ポケットパーク)				事業項目の見直しにより追加			まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響はなし					
提案事業		-				-			-						
交付期間の変更	当初	平成28年～平成32年		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響なし									
	変更	平成28年～令和2年													
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ			
	指標1	観光入込客数	万人/年	454	H28年	560	R2年	モニタリング	評価値	272	△	あり	-	観光入込客数は、評価値が272万人と、目標値の560万人を達成することはできなかった。新型コロナウイルス感染防止のための規制や外出自粛が要因と推測される。	-
	指標2	ピーススポーツイベント等参加者数	人/年度	0	H28年度	1,800	R1年度	モニタリング	評価値	2,069	○	あり	-	新たに始めたピーススポーツイベント等参加者数は、目標値の1,800人を上回る評価値2,069人となり、参加者数が増加した。	-
	指標3	大洗駅周辺地区景観の魅力度	点	2,586	H24年度	3.0	R3年度	モニタリング	評価値	2,903	△	あり	-	大洗駅周辺地区景観の魅力度については、評価値2,903と、従前値の2,586を上回ったものの、目標値の3.0を達成することができなかった。商店街などの街並みの景観魅力度(整備前2.20から整備後2.57)、宮下地区の景観魅力度(整備前2.58から整備後2.90)に対する目標指標3.0について達成することが出来なかったことが要因と推測される。	-
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ			
	その他の数値指標1							モニタリング	評価値						
4) 定性的な効果発現状況															
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等				
	モニタリング	茨城の観光レクリエーション現況(観光客動態調査報告)によるモニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					○	毎年度の観光入込客数を大洗町商工観光課にて確認する。			
	住民参加プロセス	駅前海岸線ポケットパーク整備見学会				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					○	-			
	持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						-			

様式2-2 地区の概要

大洗駅周辺地区(茨城県大洗町) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 コンパクトシティの推進に資する大洗駅周辺市街地の拠点性向上、商業・観光拠点と連携した交流賑わい空間づくり		観光入込客数	単位: 万人/年	454	H28年	560	R2年	272	R2年
小目標① 大洗駅周辺の利便性・魅力向上、大洗港との連携強化		ビーチスポーツイベント等参加者数	単位: 人/年度	0	H28年度	1,800	R1年度	2,069	R1年度
小目標② 既存商店街を活かした市街地回遊性の向上		大洗駅周辺地区景観の魅力度	単位: 点	2.59	H24年度	3.0	R3年度	2.903	R3年度
小目標③ 町を代表する観光拠点のおもてなし空間形成									



大洗駅前広場



駅前海岸線



駅前海岸線ポケットパークA



駅前海岸線ポケットパークB

まちの課題の変化	<p>○大洗駅周辺の利便性及び魅力向上により町の中核機能の強化を図る必要がある。 大洗駅周辺について、大洗駅前広場や駅前海岸線等の一体整備が図られたことにより、大洗駅周辺地区の利便性に対する満足度(整備前2.46から整備後3.33)が向上した。 ⇒更なる魅力向上が望まれる。</p> <p>○町の顔にふさわしい景観形成や賑わい空間づくりを図る必要がある。 町の顔である大洗駅周辺について、大洗駅前広場や駅前海岸線等の一体整備が図られたことにより、大洗駅周辺の景観魅力度(整備前2.20から整備後3.25)が向上した。 ⇒商店街などの街並みの景観魅力度(整備前2.20から整備後2.57)、宮下地区の景観魅力度(整備前2.58から整備後2.90)に対する目標指標3.0について達成することが出来なかった。また、賑わい空間づくりを図る必要がある。</p> <p>○都市機能の集積する中心拠点と観光拠点のネットワーク強化を図って暮らせるまちづくりを実現する必要がある。 大洗駅前広場や駅前海岸線等の一体整備が図られたことにより、市街地回遊性に対する満足度(整備前2.46から整備後3.20)が向上した。 ⇒更なる観光拠点のネットワーク強化が望まれる。</p> <p>○観光客をおもてなしする空間を形成するため、電線類地中化に合わせた修景整備や休憩・案内施設整備、これらに合わせたソフト事業により集客を図る必要がある。 ポケットパークの整備など、休憩施設の整備が図られたことにより、観光拠点のおもてなし空間に対する満足度(整備前2.52から整備後3.20)が向上した。 ⇒更なる案内施設の整備を図るとともに、これに合わせたソフト事業により集客を図る必要がある。 ⇒大洗駅周辺地区や賑わい空間の整備を図ることで、町の中核機能の強化、更なる魅力向上が必要である。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>【大洗駅周辺地区の一体整備を契機したまちづくり】⇒地域住民が参加するまちづくりの推進 行政による計画的なまちづくりを行うのみならず、事業者・住民等の更なる連携・協力の下、地域住民が参加するまちづくり組織を主体とするまちづくり活動を推進することが求められる。</p> <p>【町の中核機能の強化】⇒駅前広場の歩行者空間の整備、(仮称)イベント広場(交流ゾーン)整備、(仮称)駅前広場連続照明 大洗駅周辺地区の機能強化・利便性を高めるための拠点を形成し、更なる魅力向上を目指す。</p> <p>【町の更なる魅力向上】⇒(仮称)観光回遊性に関する実証実験 観光拠点のネットワーク強化が必要である。</p>